

PICK UP!

地元スポーツを応援! 夢は心の糧

世界を舞台に戦ってきた、元競泳選手・山本貴司さん。地元・大阪出身のトップアスリートに競技生活時代のこと、体作りのことなどについて伺いすべく、近畿大学を訪ねてきました。



【プロフィール】山本 貴司(やまもと たかし)
1978年7月23日、大阪府生まれ。アトランタオリンピック(1996年)・シドニーオリンピック(2000年)・アテネオリンピック(2004年)の3大会に連続出場。アテネオリンピックでは200mバタフライ銀メダル、400mメドレーリレー銅メダルを受賞。現在は、近畿大学水上競技部コーチとして選手の指導にあたるほか、講演会活動などスポーツ振興に携わる。

「体作りのために、食事にも気を配られていたのではないですか?」
それが、好き嫌いや何でも食べていたの、食事に気を配ったことはいないんですよ。何を食べてもいいし!ただ、子どものころは、親に「牛乳を飲め」とよく言われ、炭酸ジュースの方がおいしいのになんか思ってたことありますね。

「6歳の長男を筆頭に4人の子どもの親となった今は、「のどが渇いたら、牛乳を飲め。うちには牛乳しかない」と子どもたちに言ってます(笑)。もちろん、親が率先して牛乳を飲んで、手本を示していますよ。」

「好き嫌いなし!何でも食べます」
「体作りのために、食事にも気を配られていたのではないですか?」
それが、好き嫌いや何でも食べていたの、食事に気を配ったことはいないんですよ。何を食べてもいいし!ただ、子どものころは、親に「牛乳を飲め」とよく言われ、炭酸ジュースの方がおいしいのになんか思ってたことありますね。

「夢があることの大切さ」
「スポーツのすばらしさについて。子どものうちは、楽しんで続けられるのが一番ですよ。子どもがスポーツをおもしろいと感じられるまで、見守るのが親の役目だと思います。」

「3歳半から水泳をはじめ、小学5年生で強化選手に選ばれて以降、何度も記録を更新する活躍ぶり。そもそも、バタフライを専門に選ばれたのは、なぜですか?」
最初はクロールが専門でした。バタフライを泳いだときに、コーチから「バタフライは、がんばったら世界を獲れるぞ」とアドバイスされて、「オリンピック選手になりたい」と思ったんです。



引退後、10kgも体重が増加。「いや、どうにかしなくちゃ」と笑う明るさは、現役時代の雰囲気も彷彿とさせてくれました。

4泳法の中で、素人には真似できそうにもないのがバタフライ。山本貴司さんは、3度の五輪出場後、現役を引退したものの、いまでも「ミスターバタフライ」の異名で知られる人物です。

毎日のせいかつに、シアワセ + ぷらす

IZUMI COOP PRESENTS FOR HAPPY LIFE NO.4

おいしいくらし

くらしに笑顔お届けします
大阪いずみ市民生活協同組合
〒590-0075 堺市堺区南花田町2-2-15
TEL.072-232-3111

発行日:2012年7月30日

あまらずっぱい思い出 「トマトまるごとゼリー」



たまには思い出してみる。

結婚して7年。
6歳の娘と穏やかな毎日を送っている。
夫はというと、「この人のこと好きやったよなあ・・・」とたまに自問自答してしまうくらいに今はいわゆる空気のような存在。

結婚前は、とにかく笑顔を見たい一心でいろいろな料理つくったなあ。カレーライス、ハンバーグ、からあげ、味噌汁、とお決まりの料理やけど。その中でも、「すごいやん!」とびっくりしてくれたんが、



トマトをまるごと使った「トマトゼリー」。

トマトが大好きな彼のために料理本を探しまわって見つけた一品。



「なんて言うてくれるかなあ・・・」

今では何を作ってもうまいとも、まずいとも言わへんけど、当時は「おいしいよ。作るの大変やったやろ」と声をかけてくれたなあ。

私もこういうの忘れてた。



来月は結婚記念日。久しぶりに「トマトゼリー」作ってみるか。

8年目の愛情を込めて。

いずみ最前線



太陽の力でみんなが笑顔に

既存の物流センターの屋根を有効活用する点も大きな特徴です。



パネル設置イメージ

テクノステージ物流センター
和泉市テクノステージ2-1-10
【総出力】1.3MW 【パネル面積】9,007㎡

「太陽光発電システム」を導入します

いずみ市民生協が所有する2カ所の物流センターの屋根に、総出力2.3MW(メガワット)の太陽光発電システムを設置します。12月からの運用をめざしています。

地域のくらしに、太陽光発電の普及を

太陽光発電システムの設置運用は、経済産業省の「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を活用し、発電された電力の全量を電力会社へ売電するものです。同制度は、エネルギー資源の少ない日本において、自然の力を利用した再生可能エネルギーを拡大・普及させる目的で平成24年7月より新しくスタートします。再生可能エネルギーで発電された電力を電気事業者は、一定期間、一定の価格で買い取ることが義務付けられるというものです。

日本生協連では、福島第一原子力発電所の事故を受け、「日本のエネルギー政策への提言」を発表しました。提言の中では、「太陽光発電の普及」と「発電事業への参入」を掲げています。そこで、いずみ市民生協は日本の生協の先陣を切り、再生可能エネルギーのとりくみに参入することになりました。日本のエネルギー政策の転換とCO₂の排出量削減に寄与し、地域に少しでも貢献できればと考えています。



おひさまの
かってすごいね〜



パネル設置イメージ

あゆみ野物流センター
和泉市あゆみ野2-5-4
【総出力】1.0MW 【パネル面積】6,818㎡

information

アグネス・チャンさんを迎えて

「2012いずみ平和のつどい」を開催

誰もが「核兵器も戦争もない平和な世界の実現」を願っています。「世界の現状を知ることから、平和を考える」をテーマに開催します。

- 開催日時/8月27日(月) 10:00~12:30 イベントホール
- 開催会場/堺市産業振興センター(旧しばしん南大阪)
- 定員/800人
- 対象/①小学生以上(未就学児は会場への入場はできません)
●子どものお世話あり(有料:1人目100円・2人目以降50円)
●小・中学生対象:楽しく学べる子どもたちのつどいを別会場にて開催します。
- 内容/①講演 アグネス・チャン氏(日本ユニセフ協会大使、歌手)
②いずみ市民生協組合員による活動報告
③平和パネル展示



アグネス・チャン
香港生まれ。歌手・エッセイスト・教育学博士・日本ユニセフ協会大使、チャリティー活動や講演会などを精力的に行う。

お問い合わせ
お申込先

いずみ市民生協 組合員サービスセンター
0120-884-900

〈受付時間〉
月~金/9:30~21:30
土/9:30~20:00

応募期間
8月10日(金)
まで

いずみ市民生協の配送トラックがリニューアルしました!



「おうちにコープ商品が届くまで」動画配信中!...

商品のご利用など生協へのお問い合わせは

フリーダイヤルにてお気軽にお電話ください!

0120-884-900

〈受付時間〉
月~金/9:30~21:30
土/9:30~20:00



2009年12月の国連総会で2012年を「国際協同組合年」とすることが宣言されました。

スローガン「協同組合がよりよい社会を築きます」に基づき、ロゴは7名の人が協力して立方体を持ち上げ支えている様子を描いています。立方体は、協同組合の事業がめざすさまざまなゴール・志や、それらの事業が果たしうる成果を表現しています。性別を特定しない人々は、協同組合モデルの中心となる人々を表し、7人という数は協同組合運動の7原則を示しています。



いずみ市民生協

元気のもと
レシピ

ほんのりすっぱく、じわっと甘さ広がる

トマトまるごとゼリー
のレシピをご紹介します



トマトの
おいしさ
凝縮!

材料(2人分)

- [1] トマト(中) 2個
- [2] 水 200ml
- はちみつ 大さじ1
- グラニュー糖 25g
- レモン汁 大さじ1弱
- ゼラチン 3.7g
- 水 25ml

作り方

- ゼラチンは水に入れ、ふやかしておく。
- トマトを湯むきする。
- 鍋に②のトマト・はちみつ・グラニュー糖・レモン汁を入れて弱火にかけ、20分ほど煮る。
※キッチンペーパーでトマトを覆うと味がじっくりとしみます。
- 火を止め、③が人肌ほどの熱さになったら、①のゼラチンを加えて混ぜる。
- 器にトマトをひとつずつ入れ、④のシロップを流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。

へたに切り目をいれ、沸騰した湯につける。皮がめくれてきたら冷水に取って皮をむきます。

POINT トマトは強火で火にかけると煮崩れしやすいので、弱火でゆっくりと加熱して味をしみこませること!

コープ 彩園 ベジタブルで
おいしいトマトゼリーつくろう!

コープ彩園ベジタブル

いづみ市民生協の店舗などから出る食品残さを利用してできた肥料を使い、2カ所の農地で野菜を栽培。収穫された野菜は「コープ彩園ベジタブル」のブランドで、宅配事業や店舗で販売しています。



熟し具合を見ながら、次々とトマトを収穫(写真は同ファームのスタッフ・北川満昭さん)

完熟トマトを
一つひとつ手作業で収穫

「コープ彩園ベジタブルブランドのトマトは、どんな場所で栽培されているのでしょうか? いづみエコロジーファームの善正圃場(和泉市善正町)を訪ねると、8棟のビニールハウスはトマトの香りでいっぱい。さわやかな風が、ビニールハウスの建つ丘を駆け抜けていきます。「毎日、朝5時から昼ごろまでかかって約500kgのトマトを収穫。完熟のものだけを、一つひとつ枝から切り離し、キズつかないように箱に並べていきます」と同ファームの神崎裕也社長。同ファームでは、こちらと河南町の2カ所でトマトを栽培しているのですが、「圃場によって、トマトの味が違うんですよ。同じ桃太郎系の品種なんですけどね。河南町のトマトは甘く、善正町のトマトは甘味もあり酸味もある出来栄なんだと言います。収穫されたトマトは生協各店の店頭や宅配へ。地元で獲れた完熟トマトを味わってみませんか?



小玉でしっかりとした肉質は、生食にぴったり



8棟のビニールハウスで2500株以上のトマトを栽培

河内長野市 & 千早赤阪村にて
「お買物便」の実験が
スタートしました

♪「コープのお買物便が参りました〜」。優しい声のアナウンスとともにやってくるのは、1台のトラック。2トンの小ぶりの車体には、大きな期待が寄せられています。

いづみ市民生協では、移動販売車が事業として成立するかを2市町にて実験します。事業の成立が見込めない場合は、「お買物便」の拡大はありません。

商品を手にとって買い物を

「コープのお買物便」は、河内長野市と千早赤阪村の地域に、いづみ市民生協が走らせる食品・日用品の移動販売車。6月22日に河内長野市緑ヶ丘でお披露目され、同月25日からスタートしました。お買物便が回るルートは、河内長野市緑ヶ丘の住宅街や千早赤阪村などです。このエリアは、街中に出ればスーパーマーケットや大型のショッピングセンターがあるものの、自宅から徒歩圏内にはちょっとした食品や日用品を購入できる店がなくなったのが難点。乳幼児のいる家庭や高齢者世帯をはじめ車を利用しない人たちは、いわゆる「お買物困難者」にならざるを得ませんでした。

「全国の生協の中では、すでにローカルな山間へき地などを中心に移動販売車を運行しています。その現地視察を行った上で都市部でも、地元自治体の住民のお役に立てる可能性があるのではと思いました」「商品を手にとって、確かめて、買う。これが、お買物の原点です。生協の個配・グループ配送も



ご利用いただいておりますが、買い物の楽しさをこの移動販売車で感じてもらえたらうれしいですね。同時に事業成立すればもっとうれしいです。(いづみ市民生協 業態開発担当)

現在、商品は1460種類。「売れ行きを見ながら、商品の種類や数量を調整していきます」



お買物便のお披露目会でテープカット(写真左から 芝田啓次 河内長野市長、サニータウン 廣瀬義雄自治会長、いづみ市民生協 藤井克裕理事長)

初めてお買物便を訪れた、坂口美弥さんと志太くん(2歳)。「公園が多くて子育てしやすい環境なのだが…」と、ケチャップなどをお買い上げ



「地域のみなさんの期待に応えたい」と笑顔で語る西浦博晴さん(助手席側)

自治会のサポーターも活躍

さて、その運行の様子を見てみると。お買物便のアナウンスが流れると、停留場所に続々と人が集まってきました。車両の乗降口には可動式の手すりやステップが装備され、小さい子どもやお年寄りに配慮。そして、買い物カゴを手にとると、店内ならぬ車内へ。4、5人も入るといっばいですが、お目当ての商品を探したり、刺身を買おうか、お弁当はどれにしようか悩んだりする姿も見られます。車内の商品は、コープ城山(羽曳野市)で積み込まれたもので、店内の商品と同じ品質です。お買物便には、スタッフが乗車し、運転からレジ打ち、商品棚の整理や商品の補充まで何でもこなしています。車両の外では、行列の整理や乗降のお手伝いをする自治会のサポートメンバーが活躍。「せっかく、いいものを作っていたのだから、ずっと続けてもらえるよう協力させてもらいたいと思っています」とのことでした。

こんな声が聞かれました!

- ・いつもは、休日に子どもの運転する車で買い物に行っていますが、家のそばで買い物できて便利で助かります。
- ・ここ(停留場所)にくると、懐かしい顔に会えるので、おしゃべりできて楽しいですね。
- ・普段の買い物は主人にお任せ。自分で選んで買うのは、やっぱりいいですね。
- ・ちょっと足りないものを買いきただけなのに、スイーツも買っちゃいました。

「コープのお買物便」動画配信中! ...▶



いづみ市民生協は
こんなことにとりくんでいます!

エリア市町村との「防災協定」締結の
状況をお知らせします

「防災協定」とは、正式名を「災害時における物品の供給協力に関する協定書」といいます。災害発生時、または発生のおそれがある場合、被災者の生活支援を早期に安定させることを目的に、市町村が行う被災者支援活動にいづみ市民生協として協力することに合意しました。支援物資の供給、支援物資の輸送、生活情報の収集・提供などを行います。

防災協定の締結状況

市町村名	締結日	市町村名	締結日
河内長野市	1996年 7月25日	堺市	2012年 3月30日
和泉市	2005年 1月17日	藤井寺市	2012年 4月 1日
和南市	2008年 4月 1日	八尾市	2012年 4月 1日
富田林市	2008年 9月17日	河南町	2012年 4月 1日
岸和田市	2010年 5月 1日	千早赤阪村	2012年 4月10日
貝塚市	2012年 1月26日	泉大津市	2012年 4月20日
泉佐野市	2012年 2月17日	忠岡町	2012年 5月17日
阪南市	2012年 2月50日	太子町	2012年 6月 7日
柏原市	2012年 2月20日	大阪狭山市	2012年 6月20日

※他の市町村とも協議中です。

いづみ市民生協は、
「コープの葬祭」として9月より
ご葬儀の斡旋サービスを開始します。

ご遺族の心に寄り添い、「安心して納得できる葬儀を!」という想いに応える葬儀をめざします。



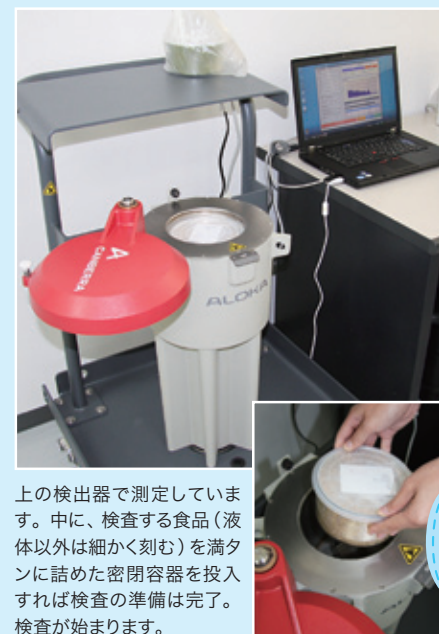
【コープの葬祭提携社】

泉屋(株)、(南)東阪社、(株)篤徳、(株)セルビス、(南)雅、葬儀会館ティア(株)スタイル花壇、(株)日谷花壇、(株)マルキキ光堂、大阪石材工業(株)

提携葬儀社による施設見学・学習会を開催しています。「コープの葬祭」についてのお問い合わせや資料請求は、コープの葬祭案内センター ☎0120-077-008 (☎072-232-6555 有料) (コープ大阪サービスセンター内) 月~金/9:00~17:00

コープ・ラボは、
「食品放射能測定システム」を導入しています

ヨウ素-131・セシウム-137・セシウム-134を検査



いづみ市民生協は、2011年11月より、商品検査センター「コープ・ラボ」で食品の残留放射能を検査する「食品放射能測定システム」の導入をはじめました。検査項目は、ヨウ素-131・セシウム-137・セシウム-134の3つ。ヨウ化ナトリウムという物質がこれらに反応すると発光し、放射能の残留がわかるようになっています。現在は、青森から静岡までの1都16県で生産された農畜水産物の生鮮品および原料とする加工品を中心に検査、国が定める規制値を超える結果が検出された場合は行政機関に報告し、判断を仰ぎます。

検査にかかる時間は60~120分。このシステムのおかげで迅速に放射性物質の検査対応が進んでいます。詳しい検査結果は、ホームページや組合員向けの広報誌で公表しているのでぜひ見てください。

コープ・ラボってどんなところ?

コープ・ラボは、いづみ市民生協が取り扱う商品を検査するセンターです。みなさまにお届けする商品が、安全であるか・約束どおり作られているかを、以下の内容で丁寧に検査しています。

- 微生物検査
- PCR検査(遺伝子組換え・畜肉種特定)
- 食品のアレルギーマーカーに関する検査
- 食品添加物検査
- 残留農薬検査
- 重金属検査
- 微量元素検査
- 動物医薬品検査
- 放射性物質検査



見学受付中! 平日10:00~16:00 (所要時間:約2時間)

組合員サービスセンター

お問い合わせお申し込み ☎0120-031-001 ●月~金/9:00~21:30 ●土/9:00~20:00